

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	1年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・地理的・歴史的事象に関心を持ち、自ら興味を持って主体的に学ぶことができる。
- ・言語活動を通して、仲間とコミュニケーションをとりながら、課題を解決するために協力できる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	【地理】 20時間 第1編 世界と日本の姿 ●1章 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀や世界地図を活用する技術を身につけ、世界の地域構成を捉える。 ・日本の国土の位置及び領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観する。 ・世界各地の人々の生活や環境の多様性を理解する。 	10時間	中間テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	5	●2章 日本の姿		10時間	
	6	第2編 世界の様々な地域 ●1章 世界各地の人々の生活と環境	5時間	期末テスト ノート点検 ワークへの 取り組み	
	7	【歴史】 35時間 ●1章 歴史へのとびら ・1節 歴史をとらえる見方・考え方 ・2節 身近な地域の歴史 ●2章 古代までの日本 ・1節 世界の古代文明と宗教のおこり ・2節 日本列島の誕生と大陸との交流	15時間		
第2学期	9	・3節 古代国家の歩みと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> ・古代までの日本について、東アジア世界との接触や交流などに着目して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現する。 ・武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解する。 ・武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を使用を基に捉えさせ、その中で現在に結びつくものに関心を持つ。 	15時間	中間テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	10	●3章 中世の日本 ・1節 武士の政権の成立			
	11	・2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開			
		【地理】 40時間 第2編 世界の様々な地域 ●2章 世界の諸地域 ・1節 アジア州	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域について、それぞれの州の地域的特色を理解す 	30時間	期末テスト ノート点検 ワークへの 取り組み

	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 節 ヨーロッパ州 ・ 3 節 アフリカ州 ・ 4 節 北アメリカ州 	<ul style="list-style-type: none"> る。 ・世界の諸地域の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を考察し、その成果を様々な手法で表現する。 		
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 節 南アメリカ州 ・ 6 節 オセアニア州 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの世界の地理学習を基に、プレゼンテーションできる。 ・地形や気候と人々の生活との関わりを学ぶことを通して、自然環境の基本的要素として地形と気候を取り上げる意義を理解する。 	20 時間	<ul style="list-style-type: none"> 学年末テスト ノート点検 ワークへの取り組み レポートへの取り組み
	2	<ul style="list-style-type: none"> 第3編 日本のさまざまな地域 ●1章 地域調査の手法 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> ●2章 日本の地域的特色と地域区分 			

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
社会的事象についての知識・技能	社会的事象の知識及び技能の習得状況と、知識及び技能を関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト
社会的な思考・判断・表現	社会的事象の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ☆授業ノート・プリント ☆授業中の記録 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象の知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆授業中の記録 ☆振り返り ・ワークへの取り組み ☆授業ノート・プリント ・レポート

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・ノートはB5サイズ以上のものを使用してください。
- ・ワークがありますので、日頃から復習で活用してください。定期的に提出してもらいます。ワークの答えを書き込む整理ノートがありますので、そちらに書き込んでください。（繰り返し学習できます。）
- ・夏休みに宿題を出します。計画的に取り組んでください。

5 教材等について

- ・教科書：東京書籍「新しい社会 地理」・「新しい社会 歴史」
- ・地図帳：帝国書院「中学生社会科地図」
- ・副教材：新学社「地理資料集 世界・日本」、とうほう「みつけよう？と！歴史資料」
学宝社「学習整理 地理1」・「学習整理 歴史1」
- ・その他：教科書・ノート・ワーク・資料集・（地理では地図帳）は毎時間の授業で使用します。
のり、はさみ、色鉛筆を使用することがあります。準備しておいてください。